

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-59)、
廃棄物管理施設(34))」
2. 日時：令和5年5月30日(火) 14時40分～16時50分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)
長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、羽場崎主任安全審査官、上出
安全審査官、武田安全審査官
日本原燃株式会社
決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他2名
関西電力株式会社
原子力事業部 プラント・保全技術グループ マネジャー
三菱重工業株式会社
原子力セグメント 安全高度化対策推進部 主幹プロジェクト統括
株式会社大林組 原子力本部 設計第一部 担当部長
東電設計株式会社 土木部耐震技術部 担当職
5. 要旨
(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年5月26
日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。
・入力地震動の算定に用いる地盤モデルに係る説明の全体像

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
・一般的な手法による地盤モデルを作成するため、敷地の状況を把握するた
めのデータを順次示すとともに、これらデータをどう活用して当該地盤モ
デルを作成するのか考え方を整理して説明する。
6. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 令和5年5月26日
「日本原燃（株）再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:01	原子力規制庁の竹田です。それではただいまから日本原燃の矢野六ヶ所。
00:00:06	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理について、
00:00:12	5月26、
00:00:15	ヒアリングを行うものです。
00:00:18	規制庁側の出席者ですが、長谷川管理官、古作調査官。
00:00:23	上出尼崎武田が出席しております。あと湯山が出席しております。
00:00:29	それでは日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割、
00:00:33	あとは本日のヒアリングの達成目標について説明をお願いいたします。
00:00:42	元の方が整備部
00:00:44	炉、日本原燃出席者についてお知らせいたします。日本原燃側から、まず決得、大場清で、山口が東京から出席。
00:00:54	あとは関西電力から野本さんが、三菱さんから佐藤さんが、東電設計から宇野さんが大林組から和田さんが出席しております。今日は以上でございます。
00:01:12	六ヶ所は本日、日本原燃受け取るんですけど、6ヶ所は本日発言予定はございません傍聴ということで聞かせていただいて、今後の
00:01:21	進め方の事前の
00:01:23	理解といった多分聞いております。以上です。
00:01:28	規制庁、
00:01:30	井出
00:01:31	から本日の議案の達成目標、
00:01:34	続いて説明をお願いいたします。はい。関西電力の郷でございます。本日は、事前に送付されてですが、入力地震の算定に用いる地盤モデルに係る説明の全体像と、
00:01:46	ということで、この入力地震動の算定に用います地盤モデルの今後の算定進め方と、考え方につきまして、
00:01:58	これを確認させていただくということが、本日を目標と。
00:02:04	でございます。
00:02:06	以上でございます。
00:02:13	成長。

00:02:14	はございますでしょうか。
00:02:18	よろしい。
00:02:23	はい。
00:02:23	関西電力野本でございます。本日をお示ししております。資料の通りで ございますけれどもこの中では、今後のこの地盤モデルの設定の
00:02:36	我々の進め方のそれぞれのステップでの考え方とそれから進め方について 説明させていただいてございます。それから、そのステップ案という ふうに書いてございます。
00:02:48	ソウカク地盤特性の整備、データの整備の部分について、具体的に説明 事項と切用いるデータというものを、2枚目に書かせていただき、
00:02:58	というようなところでございます。
00:03:00	ちょっとこちらからですね補足事項として、少し1点書き漏らして備考 がでございますので当然、すいませんちょっとはな。
00:03:09	ご説明させていただきたいと思います。
00:03:11	2枚目の2ページ目でございます。ページ目の表のですね、一番下表層 地盤の物性等のところですね、パラメータの設定方法、一番左側の欄 の
00:03:24	一番下流動化 should についても特徴を踏まえて物性値を適切に設定す るといふふうに書いてございます。これをこの表層地盤の分析等の
00:03:35	それから提出期限ですけれども、一番右側に年5月29日をしようとい うふうに書いてございます。
00:03:41	ですね、このですね5月29日の週に、まずお出しできるのがその埋戻 しに関する検討ということでこの流動化処理場の部分はそこから1週間 触れて6月5日の週に、追ってちょっと叩きいただくと。
00:03:55	ということでございましてそのちょっと追記が足りてございませんでし た。すいません、口頭で補足させていただく内容は以上でございます。
00:04:12	支店長の長谷川ですけど。
00:04:14	この資料の、
00:04:16	要は、
00:04:18	t流れとしては、結局、
00:04:22	原燃、これまでいろいろ様々な検討を
00:04:29	申請提出をやってきましたと。

00:04:32	そういう所様々な今データを持っているボーリングデータとか、PS 検層だとか、土質試験の結果だとか、いろんなデータ、観測。
00:04:48	ていうのいろいろな検討とかをしてきました。
00:04:51	えっと言って、
00:04:52	いう中で申請書の一応妥当性を証明するために、今回は、それらのこれまでのデータを使って、
00:05:04	それを客観的な立場から、まずノーマルな、
00:05:11	普通に自然に考えたらこういうモデルでやる基本モデルというのを策定し、そして原燃が提出した、いろんなことが入ってる若干やっぱりイレギュラーな
00:05:26	モデルとのちゃんと差をまずは明確にした上で、今後、その差について、
00:05:37	そういうのを、全体像という中で書いていると。はい。
00:05:44	関西電力の方でございます。今おっしゃられた通りでございます。
00:05:52	そしたらこの席は、そのモデル、様々なデータって、
00:05:58	何があるのっていうのが、この資料の次のページとかになったら、はい。
00:06:05	そうするとだから、これまで我々との間で申請してから、7月、5月ぐらいの間に、一定のコミットされてる部分。
00:06:16	はどこだと思う。
00:06:18	そこをまず確認しちゃった方がいいよね。
00:06:22	赤瀬電力の方でございます。コミットという形での、何か合意に至ったようなものというようなところは特になくて今フラットな状態にあるんだというふうには認識は、
00:06:33	しておりますけれども、D たの、解釈の面で、おそらく同じ認識に立っているんだろうなど。
00:06:45	覚えるところは、この非線形性に関する部分で、こういう話を、
00:06:53	夏井多田規制庁長谷川ですけど、もうちょっとだから、結構いやだから、こちらから言った方がいいよね。まずね。いやある程度の、要するに6点。
00:07:04	としては思ってないことは、要するに今回の入力地震動を策定するためには、
00:07:11	周囲、

00:07:13	もう1次元波動論で、モデル使ってやる分にはそれほど成層地盤。
00:07:20	成層地盤
00:07:23	では、そこはあまり論点にしていた。
00:07:26	ていうことだよねそれから三つのエリアにまず分ける。
00:07:31	不破。
00:07:32	桃井。
00:07:33	です。あとは、
00:07:35	いくつか12だ。
00:07:36	13だけ。
00:07:39	携帯電話をしたの。
00:07:41	C、
00:07:43	出して、
00:07:44	素行の直下、ないしはその周辺の地盤モデルでやるのが基本的な、
00:07:52	まずは一般論的なやり方としては、本当は建物1個1個だけど、このケースは、密集してるんで、密集したエリアを、
00:08:04	52なりで分けることは、それほど、
00:08:08	おかしくはないんじゃないかって、
00:08:10	いう、いうことが、
00:08:12	少なくとも今それほどそこは論点になってないんじゃないかって、だからそっからしね。
00:08:19	標準的なものっていうのは出発をしてもいいのではないかと。
00:08:26	ということ。はい。
00:08:29	はい。関西電力、野本でございます。はい。同じ認識でございます。あとはもうちょっと言うとそのさっき言った成層地盤の途中の地層の何メートルで、
00:08:39	分けていくみたいな、そのぐらいのモデル。
00:08:43	ていうのは、
00:08:47	もう物理的っていうかね、そそういう、
00:08:50	意味でのこの層厚。
00:08:53	地層の層はIIは、そこはあんまり
00:09:04	なので、
00:09:07	こっから先の話としては、
00:09:09	皆さんが説明してもらいたいのは、結局そのモデルに、

00:09:14	物理的ひいえとどういうデータを使いますかという
00:09:19	ローター。
00:09:21	ポイントになるんじゃないですか。
00:09:24	それを具体的に、
00:09:26	どういう、
00:09:28	考えて設定していて、
00:09:31	ですかっていうところを説明を今日してもらったら、はい。
00:09:35	わかりやすいと思う。
00:09:38	ました。
00:09:40	そ今おっしゃっていただいた観点で、ですね2枚目の、今回ですね一番の特定の整備における実施事項ということで、
00:09:51	こういうご説明をいたしますという話と、説明を用いるデータと、
00:09:55	いったものを、これお示ししているところでございます。とりあえずこういうアイテムをですねお出しすることでそれぞれある程度の
00:10:07	何ていいますか、説明ができてくるんでおのずとできてくるんじゃないかというふうな見通しを持ちながらこれを示しているところでございます。ただこれをお示したところですね、おのずとそこから
00:10:21	ちゃんと結論が導き出せるように必要によるんかどうかということをおのずと下線を出せるということも大事でございますので、これは我々が検討した中身でこれでご説明できるんだらうと思って書いてはおりますけれども、
00:10:35	ちょっとこういうふうなですねアイテムの必要な情報性ですとか、このこっから後の検討内容ですねこれちょっとですね、第三者的な立場からもちょっと見ていただくというような形でのレビューを
00:10:49	いただくような構想も我々持っておるということでございまして具体的にはですね、大林組さんとちょっと岡嶋さんにご協力をお願いして、ちょっと今まで携わってこられなかった方にちょっとこれは、
00:11:02	どうなんだと、いうことを見ていただきながら、このですね検討を進めてといたしますかこのデータをご提示して参りたいというふうに考えているところでございます。
00:11:15	なんぼか嘘それはいい。はい。
00:11:21	だから、今日はどこ。そういう意味では次の話として、岩盤の物性はどようやって決めようとしてるんですか。

00:11:32	すいません。上杉さんちょっと話が飛んでるような気がしていて、
00:11:38	今管理官言ってるのってステップ2の1のは、
00:11:42	4、すでにステップ2の1の説明を入れてきちゃったんじゃないかなと。
00:11:48	1ページはさっき、ここの書きぶりはね、どうかというのはあれだけさっき確認は一応したんで、
00:11:56	頼んで、
00:11:58	そこの認識をちょっと合わせなきゃ。
00:12:01	まずは、6月の会合では2-1ではなくて、ステップ1の話をしっかりとすると。はい。
00:12:09	いうところで、2ページになってるはずなんですけど。
00:12:13	2ページで書いてあるのは、
00:12:15	パラメータの設定方法となっていて、
00:12:18	今の岩盤の物性値等のところも、
00:12:22	最後にはその他、その際、地下構造が同じ
00:12:26	猪瀬。
00:12:29	これはその前のページのStep2-1の、
00:12:32	括弧書きで書いてあることのように
00:12:34	はい。いうことで、
00:12:36	1の説明してんのが2-1の説明した。
00:12:41	関西電力の方でございます。ご指摘の通り、
00:12:45	両方
00:12:48	が確か2-1ですので、資料の中でちょっと混乱を招くような書き方になっているというところでここは申し訳ございませんですね、ところで、説明したかったといいますかこの我々の意図といたしましては、
00:13:02	設定自体は2-1でございます。で、その設定をしていくにあたって、こういうデータをお示するということが、
00:13:14	の案段階だと思っておりますので、このですねステップ1の表に書いてある一番左端のこの欄は、このステップ1でデータ出すための目標といいますか、このもう走っていく方向を、
00:13:31	書いていると言うご認識をいただきまして、やることは、この右の三つのすみません、実その毛布右の説明事項の欄と、説明に用いるデータ。

00:13:44	この欄に示しているものを、をお示しするのが佐瀬区域の行為であるというふうに考えてございます。以上でございます。
00:13:53	はい。補足ですわかりました。その意味ではまず
00:13:57	作業としても2-1 何をしなければいけないのかと。
00:14:02	いうことを念頭に、事実関係をしっかりと整理をするということで、設定方法というのは、せいぜいまず提示をしないといけない。
00:14:11	ということだと理解しましたんで、先ほど管理課、
00:14:23	基本地盤
00:14:25	を、
00:14:27	ステップワンをやらないといけない。それが多分パラメーターの設定方法という具体になって
00:14:34	それはステップ1 を説明することになる。
00:14:38	そういうことだよね。はい。
00:14:45	あれを、
00:14:49	僕よそ聞いたらいいいんじゃないか。
00:14:54	ですけど、
00:14:56	そのステップ1 とステップ2 の1 の関係で、
00:15:01	ステップ1 で
00:15:02	4 項目ですか。
00:15:05	トレンド的なんですね、2-1 の。
00:15:09	設定するためのパラメーターなのか。
00:15:13	他にもデータを持っていて、こういうものとあわせ持って2-1 を設定するとか、
00:15:19	どっちなの。
00:15:23	あ、関西電力の方からございます。今 Step1 の表で書いてある D たで、そういう1 静的データのものはすべて出し切るということだというふうに、
00:15:39	認識してございます。このデータがそろった暁には、ある意味ですね、極域を吐くように自然にステップ2 の1 のモデルが出てくると。
00:15:49	いう姿を我々目指しているということでございます。
00:15:55	はい、上手です。そういうことがまずわかるよ。
00:15:59	書いてもらわないと、ちょっとずっとそういうことなのかなとは思いません。

00:16:05	ちょっと細かい話をすると、地盤の減衰なんていうのは、
00:16:14	観測記録、
00:16:16	まず、
00:16:18	出ますけど、
00:16:21	JR 南保見ると、観測記録以外にもいろいろと地盤の減衰を見るためにやる試験とか評価とか
00:16:27	あるじゃないですか。
00:16:31	ものだと思うんですけど、それを外して、
00:16:36	いや、簡素記録だけでいく。
00:16:40	赤嶺さんだから今、
00:16:42	これをそれから説明を聞こうかなっていうことで、
00:16:45	もう、
00:16:46	3 番目に行っちゃった
00:16:49	Step セッションからでもいいけど、
00:16:51	土肥さん。
00:16:54	っていうのは、これだけじゃない。
00:16:57	本当はね、
00:16:59	この書き方がもうすでによくないから、これじゃいけないんだけど、今やろうとしてることは、もう 1 回ちゃんと基本的な、
00:17:09	客観的なモデルを 1 回作りましょう。
00:17:13	やろうとしてることは、うん。でも、
00:17:16	多分
00:17:17	あるんじゃない。
00:17:18	いや、いや、ないんでそこはないんだよ。先ほど確認させてもらったように、ステップ 1 として事実関係を整理するにあたって、
00:17:30	2-12 という基本的なモデルを作ると。
00:17:35	いうところに必要な項目というのを抽出しなきゃいけないということで、その基本的なと言ってるのは、一般的な標準的なということで、やるべきことを一通り並べるということで、
00:17:47	あるはずだと、三鷹見れば良かったことそうだよ、ステップ 1 の書き方が悪いっていうことに再度行くんだけど、

00:17:56	だからステップ1はこれも入ってるだろうけれども、実はだから、加古がやったことすべてが、持っているデータ、最初に言ったでしょ、持っているデータすべてがそこにですね。
00:18:07	施策ですけど、
00:18:10	やってることすべてがと。
00:18:13	管理官が思うのすべてというのは、弱でやることとか何とかをもちろんあるだろうと。
00:18:19	そう言う前提なんですよ。なんですけど、それを踏まえて原燃に資料提示を求めると、やるべきことが入ってないことも多いんです。
00:18:29	だから今日、
00:18:30	ていうかそういう話をしないといけない。
00:18:36	いやだから、
00:18:37	これはそもそも駄目だよってというのは思って、古作SDそれでいうとですね、今もう結局この説明事項とか、
00:18:46	用いるデータっていうのは何かつまみ食いだっていうふうにこっちの、
00:18:50	いやだからこの紙要らなくて、うん。
00:18:54	客観的に普通に会話できすればよく制度がまずい米を、この箱の中身を説明しなくていいんだよ。
00:19:02	多分、じゃこの紙をやめばいい。
00:19:04	あるしね。ただ、ここの項目は使えるんだよ。うん。
00:19:08	だから、岩盤の物性値はまずどうするんですかっていうのを、箱の中の説明じゃなくて本来やろうとしてることを、
00:19:16	こうやればいいだけで、
00:19:19	言うだけは、
00:19:21	すいません最初にちょっと上出さんがおっしゃっていただいたのは減衰減水だけでも、いやいや、決めようって、どっからでも予算がおっしゃったのにちょっとそのまますぐ仕事は嫌じゃじゃ減衰から、
00:19:36	ね。
00:19:38	原水からでもいい。
00:19:41	簡単だからさ、清さんそれほどね、我々と差が多分ないところも、はい。
00:19:49	18件。

00:19:51	いや岩盤の物性から、目標設定の考え方で書いてあるのはこれこの通りなんですけれども、それぞれの
00:20:02	12グループをベースにして赤津青野、データも全部使う形にしましてもちょっকারの、このですね飛ぶ席の設定というのをもう済ませてきてることでまずそこのですね設定を、
00:20:18	するやり方っていいですか結果ってというのは、もうすでに以前の会合でもパラメタ差での時にお示しして、一部をお示ししてるようなところも、
00:20:31	ありますけれどもそういうところも勘案しながらもうちょっと素直に決めていくということなんだろうとは思っています。いや、だからその辺をちょっとっていうところをちゃんと説明する。
00:20:46	ていうのが、PSAの結果扱ってそうですね。データの平均値と、その下、あるデータの中平均はどうやって取るの。
00:20:56	とかさ。はい。そこになって、
00:21:00	と、やっぱりデータを示し日でこうやっているのかな。
00:21:04	だからそれを最後にやるけれども、はい。
00:21:08	もともとデータ知ってるわけだからもうこれ単純平均でいきます。はい。はい。すべてのデータ単純平均でいきますっていうので、そしてねって言ったら、ちょっと我々見たらわかるよね。それ何か変ななるじゃんみたいな、こんなのみんな入っちゃうのかよ。
00:21:23	ていう話か、やっぱり幾つか変なのあるんでそれはさ、切り取ってある考えで切り取って、うん。そこ残ったやつで単純平均の中心地使いますって、これ説明すればいいじゃん。はい。そうするとじゃあそのね、
00:21:38	うん。
00:21:39	排除する。はい。考えは何ですかって聞きよったらそれが一般的であればいいわけでしょ。
00:21:46	そういう意味でいくとですね、基本、その建物、
00:21:50	下のデータが鳥でも
00:21:59	以外になる。
00:22:00	それでも
00:22:02	皆さんの中から、
00:22:07	他にないっていうケースがございます。でない場合は近傍と。
00:22:13	ていう形での設定を、

00:22:17	何も写真なくやろうと思ってます。
00:22:21	平均値の単純平均。
00:22:23	産業へ、深さごとに、もともとだってですね、コミットできてるんだらうね。宗後藤は、そうはもうコミットね、一定のコミット。
00:22:34	頭の中のデータを単純平均するのかと。
00:22:39	認識す。はい。すいませんちょっと今、このぐらいぐらいの、或いは重みづけしてでしょ。それは今まで通り、
00:22:49	だよね。
00:22:53	いや、だから別にそうでそういう意味でそういう違和感を今までも、
00:22:57	そこを論点としてきたわけではないから、
00:23:00	最終的に、
00:23:02	データちゃんと見せてもらってたらいいんじゃないっていう。
00:23:09	整備はまず、12 エリアに対して整備は行いまして、それと動員ですね、このエリアのですね既出な
00:23:18	等々を考えしながら、この地下構造が同じとみなせる間どう集約できるのかというところの検討というのをちょっとこの中でも、いやそういうことはない。はい。
00:23:31	はい。そこが今よくわからない。
00:23:35	何でその集約って何を集約する。
00:23:37	生薬をとといいますか同じものを、なきデータで、江藤を使えるよねっていいですか同じ設定ができるよねっていう同じ構造とふやせるところまで顧客って何と何を集約する。
00:23:51	同じ地下構造だと、皆さんのところを集約、それよくわからない。
00:23:58	基本はですね、3 エリアの中で、どれが、萩田さんの場合があるのかということで、
00:24:08	今言ってるのは、例えばさ、ここで書いてある、いいっていうのと、M っていうのと、中には似てたら、こいつを集約しようとしてるんですかって聞いてると。
00:24:20	見てたら集約しようとしてるはいそうです。それはだから最初の方針からずれてるでしょ。
00:24:28	はい。はい。
00:24:29	そうです

00:24:30	ね、各直下でやるんですって言った中で、例えば今の言った岩盤の物性だけと速度構造が一緒なことをもってだけで、
00:24:43	ね、この三つを集約するっていうのは、少なくとも変でしょっていう
00:24:49	すべての物性値が全部決まって、そしてそっくりだったら、それは集約かもしれないけれども、それでも、実は次のステップだよ。うん。どれやっても集約しなくてもしてもね一緒なんだからいいんだよ。うん。
00:25:04	だからねその時点ですでにおかしいでしょ、これ。
00:25:10	じゃない。
00:25:12	2-1に、
00:25:14	先ほど私、古作です。
00:25:17	申し上げたように集約するって書いてあるんですけど、
00:25:19	この段階で集約する意味がないでしょって思ったわけですよ。としては意見集約してはいけないでしょっていう方針からしたら、
00:25:27	基本なんだ。
00:25:28	基本通りやりましょう。
00:25:31	いいかどうか。
00:25:32	2-2で、うん、じゃあ実際どうすんのと、いうのを皆さん考える。
00:25:37	実際のところはそこでやればいいの。
00:25:42	あそこの基本がおかしいな。
00:25:45	そうですね。そうですね。はい。でしょ。はい。
00:25:55	そう。そう。僕私も中出竹中。
00:26:00	まだ、だからこの解析や基本モデルを作ったとして本当にその解析までやるかどうかってのはまた別問題なんだからさ。
00:26:09	まずモデルをちゃんと作ってちゃんとそこを検証しましょうなんだよね。
00:26:14	なんか、
00:26:16	駄目だ。
00:26:21	12モデルっていうのはまず
00:26:25	これを1年、1施設としてみなしましょうっていうのまでは、いいよって言って、拙速かもしれないけども、
00:26:33	地質的に見たらどうなのっていう観点で、
00:26:36	いやだからそこがまたね、変な、だからもう他の施設はないと思って、こういうデータも持ってないと思ってやりましょうよと。

00:26:45	だからそうすと、
00:26:48	こういうふうな配置です。
00:26:50	変更に
00:26:52	この施設をやる時にはここしかない。
00:26:57	ここしかないね。
00:26:58	ていうのがね、図基本なんですよ。ただし最終ね最初に言ったけど、原燃のね、その特徴だよ。施設で、
00:27:08	ていう敷地なりいろんな特徴を踏まえて、いろんなことを最後に考えたわけですよ減免だって。ただその妥当性を検証するのに、途中でそれ入れちゃってるってことは、まあまあわかったと思うからさ。はい。
00:27:22	次行こうね。はい。ありがとうございます。
00:27:26	ここはだからそれほど我々も大きく言いますかはない。ただその重みづけっていうのはね。
00:27:32	多分、議論が一部あるのかもしれない。
00:27:37	平均平均を取る時の重みづけっていうのは、
00:27:42	ポイントとしてはあるのかもしれない。
00:27:46	ですけど、その意味だと。
00:27:48	程度これまでも、
00:27:51	考えていうのは、
00:27:52	提示されている
00:27:55	あまりその資料整理をするのに、悩むことってのはそんなないかなとは思ってはいるんですけど。
00:28:03	何か、
00:28:04	浜崎さんとかで懸念。
00:28:06	季節は先なんですか。ちょっと確認したいのは、ステップ2の1で基本地盤モデルの設定とあるんですで、括弧の中の、
00:28:16	同じとみなせる云々はこれは全く今の話が先じゃないけど、ここで言う基本地盤モデルっていうのは、第1回申請のオービィなり、ボックス、
00:28:27	で作りました地盤。
00:28:29	うん。1回12グループ作るという認識でいいですか。
00:28:32	12グループ、MOXと同じような、
00:28:35	形での地盤モデルを作ると、12個。

00:28:39	MOXと同じっておっしゃる考え方、地盤物性を使っているモデルを作りました。はい。はい。
00:28:48	それが、はい。12グループできるという理解。
00:28:52	12グループできるという理解では、直下で作る、12グループできる。
00:28:58	念のために、
00:29:00	今回12グループ、
00:29:01	そこにPA建屋と、4Bは入っていない。
00:29:05	ので、その意味では12+2のモデルができるっていいですか。はい。その通りでそのやり方は
00:29:12	基本的には一緒。
00:29:14	いや、そこはその人たちが何が一緒に何が一緒に、
00:29:19	そうですね。
00:29:20	二次が多分一緒になってないかなという、多分この場合、(ウ)にやった2グループってのは、
00:29:29	と、今回やる12グループが違う可能性は、古作です。わかりました。少なくとも
00:29:36	12+2でグループ分けをして整理をしていくと。で、その整理の仕方っていうのは基本概念としては個別にそれぞれの特性差に応じてやりますと、いうことは変わらないけども、その設定の
00:29:51	具体についてはその内容を踏まえて改めて説明をしますと、いうことですね。おっしゃる通りです。はい。1個ずつ小原でちゃんとやるというかそれしかないと思ってやってくださいっていうのが、
00:30:02	正しい
00:30:03	わかりやすい形。
00:30:05	神野でございます。おっしゃる通り暗渠にいやそれぞれで設定する。
00:30:10	ということで、それぞれのエリアでのデータ設定、それぞれの因子の設定については、もちろんMOXやPA建屋でのやり方をそのまま踏襲するというんじゃなくて今改めてデータを
00:30:24	全部出してきて、素直に、それだけで見たらどうなるかという観点で設定するということですので、結果してもうその時とは違うという干上がりというのは、それはあり得るんだというふうには思っており、
00:30:42	同じようなものが、
00:30:43	話します。

00:30:46	岩盤の
00:30:48	展示、
00:30:54	減衰。
00:30:55	全部。
00:30:59	はい。規制庁浜崎です私は最終形ですので、岩盤だけではなくて、最終の地盤モデル、
00:31:07	はい。はい。もう、はい。つくりかえツリー成果物としては、MOX4Bと同じ成果物として、12グループできるんですねっていうことを私は聞いたと。
00:31:17	やり方途中のプロセスでのやり方、評価の仕方、その違いっていうのはまた議論すればいいんですけども、
00:31:25	基本直下周辺のデータを使って PS 検層のデータを使って、
00:31:31	木製呼び作りしました。同じ。
00:31:34	同じやり方で、やり方は、個別に合ったほうがいいですね。はい。殊、14個のモデルができる。
00:31:44	そのうち、14個のモデルを作るうちに終わりましたっていうだけだよな。
00:31:51	はい。補足です。私もそうかなと思って確認しておきたいのは、同レベルの精度で説明してくれますよねっていうことが、
00:32:02	多分、12の方が上回る
00:32:07	のは何なんです。何でかっていうと、これまで宇和米の
00:32:13	何でこうなるんだっていうのを幾ら言ってもし、データの提示がなかった。
00:32:18	いうところなの。
00:32:19	そろそろちゃんと耳そろえて出すっていう形を、
00:32:24	しっかりして欲しいというところだと思います。これが足りないこれが足りないというのはかなり
00:32:31	で。
00:32:33	うん。そういう意味で
00:32:34	清野伝田
00:32:35	今ある
00:32:38	重みづけが押されていますっていうのも含めて、平均
00:32:52	いつでも、近くに何とか、熱平均とっても、

00:32:57	スケジュールっていうそのやり方においてはもうずっと一緒だったら、特段何か論点が出ることはおそくないだろうと思っている、そういう委員会多分最終的には重い
00:33:08	日付のところ、客観的なCTかっていうのは確認の対象になるんでは、当然関野補佐の方、
00:33:34	どれほどだから、
00:33:41	今そこを
00:33:46	だからといって同じだからといって省略せずに、また説明してくださいということ。
00:33:53	同じだけのデータの充実をやっているんだよねとおっしゃっていただいて、MACCSと比較しなくてもいいけど、ちゃんとしたものをもう1回ちゃんと出せば、
00:34:06	幾つか必ずしもいいとは思ってない。
00:34:10	多分MOXより精度よく出さないといけないんじゃないかと。
00:34:16	これから先の話を考えて、
00:34:22	次お願いします。はい。
00:34:25	次は、非線形性の話かな、成果、合成は今の今福清だから、他にもあるのか。
00:34:38	速度構造、PS検層の結果そのまんまだしね。
00:34:49	あと、
00:34:54	別なことやってないだろうし、
00:34:56	非線形性、
00:34:58	あ、いいですか規制庁浜崎です。No.9にした方がいい。
00:35:03	そしたらまず、岩盤の物性値のところ、説明事項のところに深度方向の速度傾向って書いてあるんですが、
00:35:13	これ速度依存の話ではないですよ。
00:35:16	岩盤物性ちいも深度依存の、
00:35:21	ある、バンバン関心があったと思うんですけども、要はその扱いについては、
00:35:26	ここではフラどう触れるかなんですけども、
00:35:31	岩盤部門の深度方向の速度計、まずですね橋野以上入ってところの二つ目のポツで書いてある内容についてちょっと説明してもらっていいですか。

00:35:42	この 12 グループのこの PT 検査の結果での速度構造のデータが生では出てくるわけなんですけれども、それを見た時の振動方向の
00:35:55	ということであって、速度を構造、
00:36:00	どういうふうに扱うかというところを、そのあとを設定していかない。いいですか、ご説明いただいて、これも同じように、このぐらい他のボックスと同じようにですね。
00:36:11	速度構造の境界を決め、
00:36:14	それはもう一番
00:36:16	分散の小さいところ
00:36:18	で、
00:36:21	上下方向
00:36:24	一番す。
00:36:26	協会が
00:36:36	2、
00:36:38	整理
00:36:39	を整理をして、
00:36:45	モク数では、岩盤部分、そやその心臓見た見てなかったんですね、実際見てないという
00:36:53	当然、
00:36:55	深度依存っていう、
00:36:58	速度構造の違いというものを持参的に、
00:37:02	かつ精度一般的に分割している速度
00:37:04	境界の決め方を、御説明
00:37:07	に、その一番、
00:37:13	秋田和気
00:37:16	分割のやり方である速度異常を見ているという、深度依存を見てるかということで、
00:37:22	理解しましたので、ちょっとそこはやっぱり江藤様は、地盤安定性評価のモデルカーとの、
00:37:32	て違い、ただ違ってるか違ってないのかという観点も審査の中にありますので、地盤安定性評価では震度以上見ると、
00:37:45	思います Z の数で、設計の地盤モデルとしては、進藤に関しては、モックと同じ

00:37:53	新層厚の分割で、それは評価してますということはですねはっきりわかるように、あえて説明してもらいたいと思いますので、当然でございます。今おっしゃられる通り、
00:38:04	ございます。
00:38:08	はい、土山です。よろしくお願いします。
00:38:14	地盤の岩盤の物性値については私としては、土岐湊の争点だけですね。
00:38:23	はい。
00:38:25	なければ、
00:38:27	どう末次とか、
00:38:29	はい。規制庁岡崎ですそしたら次に受岩盤の非線形性の話です。これに関しては4月の会合資料からもですね新京成の
00:38:41	さっき言うのは大きくないというふうに
00:38:46	資料になってたと思います。
00:38:47	で、新幹線、当然その岩盤のひずみレベルによって決まるわけですがけれども、
00:38:56	実はこの次の減衰の話ですね、この減衰もこれひずみレベルによって変わる、決まるわけなんで、ちょっとこの関係性について、資料の中で、データを使ってですね、説明、
00:39:10	をしてもらいたいと思っておりますが、現段階で、要は、
00:39:16	4月の介護資料によると、岩盤性の視点件については、影響ないとないんきちちゃったっていいですかそういうふうに理解、
00:39:27	意思がこうされるんですけども、片や減衰の方は、今後どうなるかわかんないですけど、
00:39:35	3%なりのひずみに応じた値、
00:39:39	というふうに理解し、
00:39:40	今後どう元になる、考察するかによるんですけども結果を見る限りはそういうこと、こちら理解されますので、
00:39:50	その非線形性と減衰の関係について、
00:39:57	どういう看護系になってるのか、そこをしっかりと説明してもらいたいと思います。考えをまとめ、考えをまとめてもらいたいと思います。
00:40:07	現段階で何か、いや、もうどんな設計ですけども、ちょっとここで岩盤の非線形性ってここに記述しているのは、初期のG0に対して、非線形性を考慮した時にひずみが出て、

00:40:20	ディーゼルが小さくなります
00:40:38	のは、ただ、設計で考えたときに、例えば、
00:40:43	%。
00:40:44	%ですとか、
00:40:46	減衰を入れ替えた。
00:40:47	か折川
00:40:50	その自然ケースは G0 ここで言ってる件数は一致という
00:41:02	浜崎ですそうです。
00:41:04	ちょっとご説明をしっかり。
00:41:07	いうことで説明を
00:41:09	きちんとして、
00:41:10	もらえれば
00:41:13	はい。
00:41:20	県水は、
00:41:24	多分ここはだからね、
00:41:27	あるんだよ。
00:41:28	減衰はね。
00:41:31	あれですけど
00:41:33	は、
00:41:34	いきなりぽんとデータっていうことではなくて、ちゃんと何をすべきか ということを一歩上げた上で、これはどうこれはどうと、
00:41:44	かみ砕いて説明
00:41:46	で多分そんなに、そう、今まで、
00:41:53	それほど大きなあれはない。
00:41:55	この辺なってくると、
00:41:56	随分、
00:42:00	はい。規制庁浜崎です今まさに話で、長さんの話で、新京成審議しても 減衰の話にしても、4月の段階でも、
00:42:10	入力度のスペクトルの比較で、影響があるのかなとか、そんなような コメントをしますけれども、
00:42:18	いわゆるその収束物性値といいますか地盤モデルの名前で値、
00:42:25	各 Ss に応じて、どういう人になるのだとか減衰になるのだという、そ ういう地盤物性値っていうのは今まで出てないですよ。

00:42:37	今回、はい。
00:42:38	12グループの。うん。はい。はい。で、
00:42:42	我々まずそこが、中身をこれから審査するといいますか確認する上では、その次、そういう情報をまず見ないといけない。それは通常の計算書にも出てくるわけですから、
00:42:55	そうそう。まず、その準備というのはよろしいですか。当然設計のものでございますが、地盤芦沢市岩盤の非線形性につきましてですね、第1回の時に添付資料2、
00:43:09	事業許可申請書に基づく物性値ということで、一応出させてはいただいているんですが、
00:43:17	市の話聞いてて萩谷へ、
00:43:22	12グループで地盤モデルを作りますと、それに対して、今回ですね先生が入力して、収束物性値が、
00:43:33	出てきて、それがそのグループにおける収束物性値地盤モデルになるわけですね。
00:43:41	その収束物性時の、
00:43:43	定数って、今まで我々説明受けてない。
00:43:47	すいませんはい。
00:43:48	その話です。はい。わかりました。すいません。当然設計のものでございますが、
00:43:54	線形で、
00:43:56	実際にはやりましたので、あの中にグループ内についてです。
00:44:01	非線形性を考え、
00:44:03	解析はしてません。
00:44:08	それをやるとすれば
00:44:12	そう。
00:44:14	を設定してやって、収束物性値を出しているっていうのが、基本的には、
00:44:21	PA半径というのは、MOXと同じ方向。
00:44:26	先ほど浜崎さんがおっしゃいました、全部合わせて、
00:44:31	もし、
00:44:32	MOXと、
00:44:34	金ちょっと考慮する必要があるかどうかですね。

00:44:38	去年の加瀬ですけれども、今こちらの非線形性、岩盤の非線形性に関する
00:44:44	資料の方を間もなく橋するように準備しているところですが、そこでどういいう検討をしているか見ますと、4月にお見せしたような剛性低下大体テンパ落ちぐらいのところやったときだと、こちらになったようにあまり影響はなかったと。
00:44:57	ものなんです、あれってあくまで仮定的な条件でしたので、実際にさっき浜崎さんおっしゃったように Ss-A 入れたときに、実際に収束物で、ひずみがどれぐ修正透過ひずみがどれぐらいで、実態 Ss-N 見せて、
00:45:12	はい。なので、その仮定条件で確認できたことっていうのがちゃんと僕らの、我々が作りましたいいわゆる直下のもので作った岩盤物性に試験機を与えたもの。
00:45:22	に対してそういったところを想定した場合にあっても先ほどともとと感度分析でやった条件というのがちゃんとその適用の範囲内で、
00:45:29	見える同じ条件の範囲内にあります内にありますよというところはお説明させていただくつもりでありますので、そういう意味では先ほど浜崎さんおっしゃった、収束物性をきちんと見た上で判断なりそういった設定になっているのかというところを説明できるかな
00:45:42	はい。考えて。
00:45:43	はい。既設山崎です。
00:45:48	前にやっています。
00:45:50	すでにやってるのは実は、
00:46:07	しかないんで、
00:46:08	1 グループの直下
00:46:10	じゃない。
00:46:14	それが条件なんだ。うん。だからそこですべて個別に上でやるという、
00:46:24	すべての前提条件だから、10 人をまとめて話しちゃいけない、あるところには、もうねそれ以上データがないっていう
00:46:34	だけなんだよ。うん。
00:46:36	最後に考察するときはいろいろ使うんだけど、
00:46:39	まずはっていう理由でやっています。
00:46:44	なんで、

00:46:47	規制庁浜崎です、まずはって意味では今までのパラスターそうです、今大橋さんから話があったように一律の剛性低下だとか、
00:46:54	要はボックスとは違う状況ですねそれ。
00:46:57	では、まず、傾向分析をしましたと。
00:47:00	で、ボックスと同じように、入力動に応じた、ひずみ、
00:47:06	に応じた剛性低下であり、減衰を評価した解析もこれから結果を説明する。
00:47:13	しますね。言うせ、今話だというふうに理解しました。それでよろしいですか。おっしゃる通りです鉄安全を積み上げてのはそういう、わかりました。
00:47:24	A4の紙に入る入らない別としてね、ある、でも、
00:47:31	エリア内エリアの
00:47:33	ね、SHAKEの地盤モデルが、
00:47:41	データはこれ使いましたっていうのが、
00:47:44	予想に、
00:47:45	で、
00:47:50	ね。
00:47:57	それを12枚出してくれたらいいんだ。
00:48:05	最後そういう方ということですね。
00:48:12	別だよ。
00:48:15	イメージ的には、
00:48:17	そのバックデータがこうですって、
00:48:20	で、
00:48:22	宗圭南
00:48:25	をしたわけですが今、ちょっと、もうちょっと確認すると地場シルロだとかひずみ依存特性自体は、岩種によって、今、
00:48:34	それは12グループ、岩種によって、同じものが出てくると。ただ、
00:48:42	例えばSs-Aを入れたときの、各岩種各層ひずみってこれは層厚の違いかな思い、
00:48:52	或いは全体の評価の違いで違ってきますと、その収束物性値が、GとHという形で最終的には12グループ、
00:49:04	関根が、
00:49:06	それを今までは、

00:49:09	委託してもらってという話。はい。
00:49:12	そういう、今後、説明があるということでよろしいですね。
00:49:18	そういったはい。選挙医師可児元西条
00:49:21	ものを、今 UBR ステップ 1 で整理したもの、整理した物性値に基づいたときに、具体的に実際に修正
00:49:30	中、
00:49:33	3 個、規制庁は技術参考として木製及び、第 1 回申請分もあわせて説明次第で、特にオービィなんていうのは、中央の真ん中にあるわけだ。
00:49:44	それも参考になると。
00:49:55	はい。規制庁赤城です。
00:49:57	ちょっと私のさっき、
00:50:00	下水をどうするかっていうのが目次と同じですと、各入力度に応じて各層の値、終息の減衰ってというのが、MOX は評価してたんですけども、
00:50:11	それが一つの考え方です。ところが先行炉では例えば設計的に、例えば 2%であっても、一律 3%にする、してるような先行炉もある。
00:50:22	ということで、現在はこれからどうするかというところもありますけれども、
00:50:26	原燃は建設時にですね、S は 2%じゃないや、S は 2%からです 3%で申請されてますよね。
00:50:36	と、2 とか 3 の根拠って当時、
00:50:40	は、
00:50:41	何か説明あったんですか。
00:50:48	今、今すぐ答えは答えてくださいって言うわけじゃなくて、はい。
00:50:55	今回数が、例えば失相当をならば、当然 3%ってというのは、その建設ずっとの熱性という説明もできるんでましてその根拠があれば説明できるわけですので、
00:51:07	そういう根拠があれば説明してくださいというのが趣旨です。
00:51:15	原燃がこの減衰にとらえて決めようとしている。
00:51:21	関西電力の方でございます。
00:51:24	ワンなり、ステップ 2 の 1 なりでの減衰の設定ですけども、基本、まず、アズイズのものと、
00:51:36	いうことを基本にしたいと、いうふうに我々考えてます。

00:51:41	ですので、その中で、これ書いておりますように地震観測記録に整合するんですよ。それで結果と言うのをこれを、まず渥美佐瀬の値であると。
00:51:51	ということで、我々まずは採用するという形をとりたいと思っています。その時にですね冒頭にちょっとお話ありましたような、弱での設計、
00:52:03	ですとかをせせ、値として設定もごさいますし、
00:52:09	それをどう考えるのかという話はもちろん我々もそこを回収しなきゃいけないですけども、そのギャップのですねえとスキーが、
00:52:20	し規定されてる、その背景といいますかあれが実績値として書かれているといったようなところの背景も踏まえて、我々と現在のサイトにどれが正しいのかっていうところでいくと、
00:52:33	実際取れて値段は正しいんだろうけどもこれが19で取られてるもの。
00:52:37	の、
00:52:39	中身から照らし合まして、我々とられても、が、おかしなものでないかという、
00:52:46	照合させていただくと。
00:52:47	というような考え方。
00:52:50	考えて、
00:52:52	尾形沢野さんすいません、細川担当お願いします。
00:52:57	はい。
00:52:57	日本原燃の岡です先ほど野本さん
00:53:01	今実際に我々のところとしましてはまず敷地としてどういうものがあるかというところで、
00:53:09	やはりその
00:53:10	直して、
00:53:13	今回SSを入れる点検。
00:53:16	人間について実際どう
00:53:18	その傾向を踏まえてどう設定するのか、そういう観点も必要だと思う。
00:53:21	そこをちょっと考察に入れる形で元
00:53:28	成長紙です。今、野本さんは、保安等を図りやすく、観測記録、
00:53:34	の値でプラス弱の2008に書いてある。
00:53:39	で、その二つを見て、うん。結論的には違う。
00:53:45	ポートを持ってるっていうのが、思惑として、
00:53:48	見たんですけど、お母さんのものでございます。

00:53:51	おそらく多分、申し上げたことを正確にちょっと私言えてないんだと思いますそうだと思う。
00:53:58	衛藤ちょっとじゃそれで俺質問したいんだけど、同じ質問なんですね。はい。野本さんが言ったその全国のその3から5の、
00:54:09	要は検証したときのデータと、結局、元の、現状の敷地のデータ問題。
00:54:17	多分、
00:54:18	観測。
00:54:20	予定する
00:54:21	声を
00:54:23	多分ね、そうす
00:54:25	そのデータ照合したときにもより大きいような、
00:54:31	特性であるっていうことを証明した上で地震者観測記録を使おうというそういう意味合いだと。
00:54:40	より大きいという、要するに3から5、
00:54:43	マンガン、
00:54:44	計は3から5でいいですよって言ったときに、その3から5です。
00:54:49	もう決めたときの元データは、もう岩盤部ってこんなもんだから、それと原燃の敷地のデータに比べると、それよりもっとやわらかいよねみたいなね。
00:55:00	そういうことを、
00:55:02	説明しようとするというと、
00:55:06	関西電力の方でございます。えっとですね、
00:55:12	すみません、言葉に詰まっております。どうい。はい。
00:55:16	どういう意味だったのかな。主総合ということ。
00:55:19	消防障防法というたら、自分で言うてなんですけども、とですね、添3から5が、或いは逆の中でも、実績に基づく値っていうような書き方をされて、そうそう。だから、だから、
00:55:34	何かどっか
00:55:36	いくつかのいろんなデータを
00:55:37	見て決めた
00:55:44	実際に地震とか、
00:55:49	各

00:55:50	伝統減衰って設定されてきたのかということ、必ずおそらくそうではなくて、はい。
00:56:00	期を、さっきおっしゃっていただいたSII、3%1万%っていうのはこれも比較的実績元に見ながら右へならえで、若干やってきたところはあるんだとは思うんです。
00:56:15	ちょっとそういう方な形からやってきてる数字だということも見ながらこの3から5と言いながら、それがなるかと。
00:56:28	いや、いいよ、別に今多分それ前段みたいなしゃべりだから、まだ本質で、
00:56:42	いやうちは、
00:00:00	ます。
00:00:04	関西電力の五島でございます。今ちょっと減衰についての議論をしていた。
00:00:10	ちょっと
00:00:12	整理がちょっと、ちゃんとし、しゃべっていないということも認識いたしましたので少し、これ、持ち帰らせていただいて、
00:00:28	あと、
00:00:29	ちょっと話それじゃかもしれないですけど、今みたいなその限定、
00:00:43	紙をするのか、それはまた今度ってなると、
00:00:47	そういう、
00:00:48	進め方の
00:00:51	赤下げるものでございます。ちょっと先ほどちょっと社内
00:00:56	だけれど
00:00:57	今の
00:00:59	いたします。
00:01:00	では、
00:01:02	減衰である。
00:01:06	ターンは全部
00:01:11	が
00:01:13	ほぼ審査会合でお示し、
00:01:19	そのデータをに対して、このですね、その事実関係として疑義があるのかどうかというところを、規制庁さんのご判断をいただくというようなところなのかなというふうには考えておりました。

00:01:35	以上でございます
00:01:40	要は、
00:01:42	日本で示したってことでしょ。
00:01:45	今、今ろうというのは観測地震ではこの値が出ました。までは出します。で、基本地盤として何を使うのかといったところを示すのか示さないのかちょっと持ち帰ってもう一度、
00:01:58	議論させてください。
00:01:59	いうのは答えでございますが、基本的には多分そのぐらいで示しておかないと、次が遅くなりそうする議論が、
00:02:09	も悪いも言えないというのは確かにそうだと思いますだと思っのでやっぱこれは原燃の考え方をちゃんと提示するんじゃないすべての、
00:02:17	今日の資料で、2-1の、
00:02:20	データセットを、
00:02:22	具体的に解析だけするとしたらデータセットはこうしますと、基本条件変更しますっていうのは、すべて提示するんじゃないの。
00:02:30	その方向でちょっと、持ち帰ってちょっと。いやだからこれがさ、提示できないっていうことは原燃は結局今まで何も考えてなかったじゃんっていうのをね、
00:02:40	これさらに言うことになって、マイナスでしかないのよ。
00:02:45	そして証拠になっちゃうんだよ。
00:02:51	だから最初の趣旨に合わないわけですよ。
00:02:55	はい。はい。川崎意味わかったけど、最初の趣旨に合わないっていう。はい。
00:03:00	これ考えるまでもない。
00:03:11	募集人からして欲しい。
00:03:15	古作です。ちょっと先の話ちゃうような、うん。申し訳ないです。
00:03:20	最初のページに戻って、2-1。
00:03:24	エリア数学はなしねっていう話だったので、今の話でいうと、ステップ1の話をする、前、
00:03:33	負担として、設計方法っていうのは、基本どうかということの話をするので、結果とすると、2-1も、
00:03:41	セットで話を、
00:03:43	ワークするんだよね。

00:03:44	そういうことになります。そうすると、それで儀間疑義があれば少し審査会で議論がある。
00:03:53	いうことでそれでどうするかは少し原燃で考えながら、
00:03:57	ということですけど、次のステップでいうと、この2-2の辺りで、じゃあ最終的にどうすんのと。
00:04:04	いうのを分析をして、考え方を提示をするというのが次のステップそういうことかなと思ってるんですけど、認識は、
00:04:13	重ねる。
00:04:15	認識でございます。
00:04:17	浅水わかりました。そうすると、多くの進め方は、
00:04:21	認識はあったようなので、そうなるように、
00:04:26	会合ですら、データをしっかり提供されると。
00:04:32	簡単に言うと、
00:04:33	9月の審査会合では、原燃生まれ変わる原燃のことをまず言いますと、その結果、
00:04:43	もう、
00:04:50	フルセットしますというところが技術的議論。
00:04:56	で、それが、
00:04:59	で、
00:05:00	基本地盤モデル、
00:05:07	論
00:05:10	だから
00:05:26	赤木ですけど、私は今ので大体話したいことがあります。
00:05:32	次、規制庁浜崎です表層のお話で、私の方から二つ、
00:05:38	確認ですね今これ4項目っていうのは、当初4月の会合で重点項目に対してなんですけども、
00:05:46	4月の会合で、実さらに三つの指摘をしますんで、そのうちの 하나가表層地盤の診療所の話ですね、まず、
00:05:56	2ページの表の一番下の表層のところに、その深度依存の、
00:06:01	対する検討。
00:06:04	方針だとか今記載がないんですけども、
00:06:07	その表層の深度移動についてはどういう扱いになるんでしょうか。

00:06:12	片桐の方でございます。えっとですね深度依存についてはその説明、真ん中の欄の説明事項のところ、とですね竹井周辺における物性値としての適切な設定についての検討結果のところ、
00:06:25	ここで実際ですね、分析の頻度移動も一緒に我々の考え方をお示しすると。
00:06:36	行きまして、といいますか。衛藤。その次の
00:06:40	ございますけれども、あの数字と経理ローンに基づきましてこの深度依存のその海域のあり方についても、これの検討結果っていうのをお示しする形で、この我々の考え方といいますか、このデータをお示しすると。
00:06:56	いうことを考えてございまして、
00:06:58	そこあり、
00:07:03	メーターです。
00:07:04	PS 検層の速度構造ですとか、
00:07:08	ものを一応出させていただいて、それが
00:07:15	で、
00:07:16	他に我々行ってるその東京
00:07:20	関西がなく、
00:07:31	次に、
00:07:36	ものを用いて、こういうふうな物性が出た
00:07:41	予測。
00:07:47	はい。規制庁浜崎です中身の話或いは技術的な話についてはヒアリング、なり介護でということで、先ほど私の方から確認した。
00:07:58	前回の会合で指摘をした、表層地盤の振動依存に関しても、この
00:08:06	2 ページの表の
00:08:07	表層地盤の物性値等の中で、今後説明しますという理解でよろしいわけですね。
00:08:13	はい。はい。戸田関野でございます。その通りです。
00:08:17	規制庁がいいです。準備をお願いします。もう一つ表層地盤についてですけどもこれも前回の会合で指摘をしておりますけれども、特に東側地盤ですかね、埋め込み予報量、
00:08:30	しない条件で、今設計をしているとものがありますと、で、その扱いについてですね、等を

00:08:41	については、
00:08:43	ページ目の中に何か、
00:08:50	整理するというような形で、
00:08:53	発注は実際観点ですけども、
00:08:56	先ほど言った、指摘事項前回のご指摘事項の回答は、どういう形でされる予定でしょうか。
00:09:05	はい。関西電力の方でございますこの※印のところですね。
00:09:10	2回、朝の意図としては、このステップ2の2の段階で、このと一緒に
00:09:17	良いとでこの1年と書かせていただいて、
00:09:23	規制庁浜崎の
00:09:24	けれども、今、ステップ1、
00:09:28	或いは2-1の段階では、基礎下の入力どう。
00:09:34	もう、評価対象になるというふうに思ってるんですけども、要は基礎下の入力だと、埋め込みがあるかないかで、
00:09:45	任意するのが一般政府にするのかのかという違いも出てくるわけだんで、2-2の段階で、その説明があるというのではちょっと遅いように思うんですけども、
00:09:57	2-2でないと説明はできない。
00:10:00	或いは、ステップ1、或いは2-1の段階では、どういう方向で説明をされようと今考え、
00:10:09	日本原燃の小形です。安保加瀬です。今の現状ですけども、ステップ1、エラーのそのデータを集めて、
00:10:18	ここのZ
00:10:20	のファイルと、
00:10:22	につきましてもその
00:10:28	いわゆるE+F、
00:10:29	なしでまず、
00:10:42	かという観点での
00:10:51	という今の二つの、
00:10:55	世良ですけど、
00:10:58	そもそも
00:11:00	通常インフラセーフで、

00:11:03	普通に考えたらやるところ、原燃は一部イレギュラーやりましたってそういうことの認識でいいので、はい。
00:11:14	と、埋め込みをちゃんとすべてに
00:11:25	ございます。はい。
00:11:27	でも
00:11:28	は、
00:11:29	法の
00:11:31	データ深さ依存性と、
00:11:34	設置をどう取り扱うか、については、一定の条件で、
00:11:46	そもそももう多分、
00:11:49	工程
00:11:51	手を入れ
00:11:52	等、施工時に、
00:11:56	一定の条件。
00:11:58	それなりの管理の
00:12:02	データをちゃんと
00:12:04	言いますと、なので、
00:12:06	その取った時点の場所場所での、
00:12:10	測定値は、信頼に足るデータですと。
00:12:14	というのが、まず、
00:12:15	多分最低限、はい。それが保証した、しておかないといけないんですね。
00:12:22	それをちゃんと保障した上で、
00:12:24	あとはそのデータがばらついてるのを、
00:12:28	どう見るかっていう
00:12:30	問題なんだよね。
00:12:31	次は、当然、
00:12:35	集めるとか、
00:12:36	結構構造的に速度、
00:12:40	あ、はいいや、平均。
00:12:46	で、
00:12:48	客観性があるかどうかよくわからないんだよね。
00:12:52	どちらにしてもここは難しいですと。

00:12:55	いうことだと思う。
00:12:57	そういう難しくてちょっと
00:13:00	楽観的に
00:13:02	分かれちゃう。
00:13:04	というようなケースをどう考えますか。さっきの減衰も同じだよ。
00:13:09	なんだけどその時に、原燃は、
00:13:12	やっぱりさ、一般論的な標準的といえども、やっぱり、
00:13:18	ばらけちゃう。ございますか。
00:13:20	に、原燃は、まずそこで1ヶ月制としてどう考えますかって。
00:13:26	いうのはあった方がいいんだよね。
00:13:29	両方やりますっていうのもある。
00:13:33	わからないんで、わからなくてバラつきがその結果のばらつきもものすごく大きいですっていうのが、実はここでわかってるわけだよ。
00:13:42	最初の時点で、
00:13:44	平均で取るのと、
00:13:46	火災依存を考慮するのでは、結果にすぎえ大きく効いてきますっていうのが実はわかってるわけだよ。
00:13:55	それはある種の解析上客観的にもう見えてるわけだよ。
00:14:00	そうすると、両方にやりますと、
00:14:03	わからないので両方やりますっていうのが実はあるんじゃないか。
00:14:09	そうしとかなないと、何かそういうのが、じゃあね、ある一定に決まりましたって言ったら、さらに信頼性があるの。
00:14:20	要するにわかりませんって最初からわからないので。うん。こっちもこっちもやってきますわっていう。
00:14:27	世界。
00:14:28	ていうのは、
00:14:31	そうなのっていうことで終わるわけね。もうわかんねえって言っちゃってる。でも、いやこういうデータは、こういうふうな、
00:14:38	何て言うのかなと、統計処理なりでしたら、
00:14:43	ですよっていう
00:14:45	だから、
00:14:48	処理
00:14:51	しない。

00:14:52	ちゃう。
00:14:54	一応今、
00:14:56	どちらかといえばですね、
00:14:59	わかんないので、両方やって、最後に、
00:15:06	使うかっていうのは最終的に決めますという、工学的な、世界に落ち込むのか。
00:15:14	客観的な世界で片付けるっていうのが、多分そこに減衰と、この
00:15:21	何だこの表層地盤物性値問題っていうのは多分あるんで、
00:15:32	と同じ挙動ですけども、その表層については、客観的に、こういうのが予測モデルとしては適当ですということを、数値統計理論で確立されているものがございまして、
00:15:45	そういうものを使って、客観性を出して説明できるところは説明をし切ろうとしてるわけね。はい。そこが前提が、
00:15:56	何かというと、やっぱり人、
00:15:59	赤ちゃん
00:16:01	だから、その管理のもとでは、場所によらず、ある一定
00:16:07	村瀬持った施工で、
00:16:12	そこがちゃんと
00:16:15	証明した上で、
00:16:16	うん。
00:16:18	そうしてしまうともうそういう、
00:16:21	あとやってる以上、
00:16:23	違いついていうのは、
00:16:24	これは持たない。
00:16:27	言ったような形になる
00:16:29	ということなんで、
00:16:32	他は、
00:16:38	センター
00:16:40	らしいです。
00:16:41	伝えられ、
00:16:42	ある種の統計的いいな。
00:16:46	ファイルデータ。
00:16:48	そういう説明をする。

00:16:59	あとは、多分減衰の方も似てるんだよね。幾つかの手法によって、数字がかなり大きく変わり、
00:17:07	世界の
00:17:10	同じなん。
00:17:11	と違うんだよね。うん。
00:17:13	だから、同じようにして考えてもらわないといけないですよ。
00:17:18	ことを、
00:17:19	伝えておきたいんだけどね。
00:17:24	安易にやる、ちゃう。
00:17:26	同じような系統なんですよ、この二つ。
00:17:29	他の部分について、
00:17:32	に答えが収束に行き着くのような論点なしで、
00:17:37	確認はあるけれども、
00:17:39	我々もそうだよって、そんな
00:17:44	ていうのは、
00:17:45	みんなが、
00:17:55	的に見れるか。
00:17:56	後、
00:18:01	ちゃんとそこは説明。
00:18:04	ある種危ない橋は多分ね、わかんないってさっき、
00:18:17	わかんないですかね。そこが飯野千野。
00:18:19	いうところであります。いやいや、これ違う。だからね、
00:18:25	だからこそ、曖昧にし、
00:18:29	いよいよ決めるっていうことなんだよ。
00:18:32	決めたら動かさない。
00:18:38	決めたら動かさないんだけど、決めなければね、工学的じゃ G ができるとっていう、
00:18:46	そういう世界もあるわけですよ。
00:18:49	だからね、
00:18:50	こういうところはよく考えて、やった方がいいですよっていう。
00:18:56	もともとここは大きく、
00:18:59	入力地震動のレベルになり周期体にもろに減衰とか、何故か表層

00:19:07	何で競争実際にはそんなに影響力があるのかとは思うんだけどね、その力的にね。
00:19:15	まあ、ちょっとよく、
00:19:17	想像があまりできないけれども、
00:19:20	結果論はそうなるからこそ、
00:19:23	適切にちゃんと説明が要りますよって。
00:19:28	そういうことなんで、
00:19:30	あまりこう、はい。やっていく表現、割り出し、
00:19:34	いずれにしろ、原燃のもう、
00:19:37	考えれば、説明してもらおう。
00:19:40	ていう、そこで一定のコンセンサスがられれば、次のステップでやっていく。
00:19:50	現状の
00:19:52	申請されたモデル。
00:19:56	一つ、
00:19:58	構成が解明できていく。
00:20:00	そうじゃない。
00:20:01	ないしって、
00:20:04	明らかな、
00:20:07	手順を追ってや
00:20:13	決めたことを、ここでは基本モデルという、言ってるぐらいだから
00:20:17	基本モデルをまた動かすと、もう1回元に戻る。
00:20:21	フォロー。
00:20:27	でね、基本モデルは別にある範囲を持ってやっても別にいいと思うし。うん。いくつかのパターンがあっても、それはいいんじゃない。1個に限る必要性は、
00:20:39	ない。
00:20:40	はい。
00:20:41	とは思うんでね、よく考えてやってください。
00:20:47	はい。そうしましょう。はい。
00:20:49	よろしいですか。規制庁阿比留です私の方からちょっと最後なんですけれども、
00:20:54	今日ステップ1ステップ2という進め方を、

00:20:59	中身といいますか全貌がわかったんですけども、
00:21:02	前回会合です、もう一つ指摘があって、今平均モデルと言われているものが赤の PS 検層から求めてますので、実際それ以降、建設時以降に青野を
00:21:15	PS 検層を使ってませんというお話がありましたので、それに、その影響について、影響あるのかないのかについては、今後検討しますという、
00:21:26	説明があったんですけども、
00:21:28	その結果っていうのは、ステップ 2 の 2 の、三つ目のポチかな新生地盤モデルが使用できる、この段階で、
00:21:39	青の影響も含めた申請地盤モデルの OO 改良版といいますか新しい版が、
00:21:48	新しい文中かな、要は赤と青の PS 検層を考慮した地盤モデルの状況というのは、この段階で初めて説明があると。
00:21:58	ということになるんですか。
00:22:01	関西電力の方でございます。ですね最後の段階での
00:22:08	実績の段階でのご説明になるということです。国の 2 のところで御説明に A、A となると、いうご理解その通りでございます。で、我々ここで書いております。
00:22:21	方に、目標モデルとしては赤も青も両方使うのが基本だという、もうここはいるようじゃない。
00:22:30	その上で、最後ですね、その片方だけ使うということになれば、これ、
00:22:39	赤、
00:22:43	赤だけで、
00:22:47	見えない。
00:22:54	使っているものが、工学的に使えるのかどうかという観点で所での御説明なるだろうなというふうには思っております、これなんです。
00:23:11	はい。はい。清町浜崎です。
00:23:15	ある意味今の件ってすごい大きな話、要は、
00:23:17	震災後までも常識な話だよね。
00:23:21	ただ申請は赤の、はい。

00:23:25	県側しか使っていないわけなんだから、それ最終的に我々も含めてのジャッジなんだけれども、結局家、例えば、多分、結果論として、ある最終的に我々見ると入力地震動が正しいかどうかというのを見るよりも、
00:23:41	基準地震動みたいなものが入ってきたときに、建物
00:23:45	がちゃんと
00:23:49	と。
00:23:50	結果論として、同等。
00:23:54	要するに、地震等が同等またはそれより上回ってれば、結果論としてや、新たにそれより、
00:24:05	別に地震力を取りかえてまで、応力評価をしなくてもいいよという、ただそれだけなんだよね。そこを工学的っていう意味で取り扱えるかっていうそういうことですよ。
00:24:20	関西電力の方でございませう、おっしゃる。
00:24:23	省いて、
00:24:31	はい。
00:24:32	というような
00:24:33	青のデータを使わないでやったことは、それはちょっと適切でしたっていう。
00:24:39	現状はそういう認識であるっていうことなんだよね。
00:24:43	感染力等でございます。衛藤。そういう認識で私はおります。後よろしいでしょうか。
00:24:53	でよろしくて、
00:24:54	それが元に戻って再検討するところの、一つでもあるわけですよ。
00:25:04	そういうことを全部、
00:25:06	ね、ちゃんともう1回ね、立ち位置をしっかりとした上でやるんではないかと。いうところに意味があるとか。
00:25:15	だから
00:25:19	ごめんなさいをたくさんしないといけない。
00:25:22	ごめんなさいの数が多ければ多いほど自由度が広がる。
00:25:28	俺よくとらえた。
00:25:30	いやごめんなさいしたんだから。
00:25:33	ね、自由が開放されたわけですよ。

00:25:41	それを適切に使えるかどうかは別だけどね。
00:25:49	古作です一通り、
00:25:51	論点としてこれまで話したことの、どういう状況かっていうのを確認し、
00:25:57	どうぞ。
00:25:59	2 ページで、提出時期っていうのを描きつつ、最初に表層地盤のうちの流動化処理等については6月5日の練習だと。
00:26:10	ということでお話しされていて、
00:26:13	衛藤。
00:26:17	そういうことからすると、ほとんどが6月5日の週ということなんですけど、
00:26:22	Steering チームでやるということで、チェックもしながら、本当にす提示に足る整理になってるかっていうのを確認して出していただくと。はい。
00:26:34	ということであるところは、結構な物量が6月5日の週ということなんですけど本当に大丈夫ですかと。
00:26:45	頑張らせていただきますということがお答えでございまして、そのチェックの過程で、お出しするに足りないものであるということであれば、
00:26:56	そこはちょっとそこからあれですねお出しするものが、
00:27:02	今ちょっとできないところになってくるということをご相談してんだなというふうには認識しております。その認識は良くないんじゃない。
00:27:10	だから、
00:27:13	提案寝具ハンドル握って寝ちゃって、
00:27:16	が結城なんでしょう。
00:27:19	は、
00:27:21	悪く言うとそうですね。
00:27:24	いやだから制御できてない。
00:27:28	ちょっと、2 ページのページでここに書いてる内容、今日新たにちょっと計画の中に入れちゃう
00:27:35	いろいろコメントをいただいたところですので、それでもってもう一度この時期にできるのかというのを再検討して出させていただきます。今日これ書いてる通りの農工ベースでた場合はできたんですけどもいろいろコメントいただいて、

00:27:48	深瀬菜関係等も出てきましたので買い替えでしょ。
00:27:52	はい。書換えになりますので、停止時のね、細かいデータを示す必要は実はないものもいっぱいあるわけですよ。
00:28:01	だからな、何を提示。要するに、
00:28:05	最終的な多分、
00:28:10	標準モデルっていうのはこんなイメージだよなこんな感じだよなっていうのが、良い、
00:28:17	具体的に込み、
00:28:20	お互いにねコンセンサスを得るっていうことなんじゃない。
00:28:24	ね。そのために必要なデータを、等が見せておけばいい。
00:28:36	それが Steering チームなり、ここにいる人たちがちゃんと
00:28:41	ファイルは、
00:28:42	ね、データはね、こんな山積みした言うっていうのはこの辺だけ。
00:28:47	で、
00:28:54	だよな。
00:28:54	集中と選択とか言ってるじゃん。はい。
00:28:57	根井。
00:29:00	適切に考えられるのであればそれはそれで、
00:29:04	いいのかもしれないですけど、
00:29:05	基本的にはちゃんと整理をするというこ等で、
00:29:09	だと私は思っていて、ただ、
00:29:13	耳をそろえないと、資料提示ができないのか、議論ができないのかっていうとそうでも
00:29:20	一番
00:29:21	ポイントなのは、全体どう考えてるのかっていうのをちゃんと示すことだと思ってまして、データを、
00:29:29	一式そろえるというような
00:29:31	そうすると先ほどの減衰定数のところ言えば弱でどうなっていたのかと。
00:29:37	それに対してどうというようなアプローチをするのかということをやちゃんと耳を、そういう意味での考えを耳をそろえるというのがないので、データをそろえるっていうのはその次、
00:29:50	そうすると、

00:29:52	補足説明資料だったり、添付書類だったり
00:29:54	まず文章側の、どういう構成なのかってのをしっかりと書くと。
00:29:59	考えを示すということであって、そこを、
00:30:03	少なくともこの日程の中でやっていただきたいと思っているところで、データをそろえるのに時間かかりますみたいなのは、いつまでですかっていうのを示せばいいと。
00:30:14	いうところがあると。
00:30:16	品になるところは当然出してもらわないと。
00:30:19	最終的にエビデンスとしてそろえるっていう意味で、肉厚を、
00:30:25	ふやすような作業であれば
00:30:29	いつまでにというふうに言っていただければいい。
00:30:31	そこら辺の程度感を少し整理をして、マター、今週末にあれですね進め方のヒアリングやりますよね。
00:30:41	そのあたりぐらいまで、提示いただいたら、
00:30:45	話ができるか
00:30:51	古作です。実はその話というよりも、ある程度もう見て作業はされていて、感触掴んで言ったように、
00:31:00	ではありますけど、それプラス今日の話もあるという、
00:31:05	整理をしてください。
00:31:09	社長も、
00:31:14	金曜日、
00:31:15	こういうものを、これぐらいのもの。
00:31:19	加え、今言ったみたいに、
00:31:21	具体のデータを取り貼り付けた。
00:31:25	こういう
00:31:52	はい、古作です。
00:31:55	一通り、
00:31:56	話はできたかと思うので振り返りで、少し整理の時間が必要かと思いません。
00:32:03	あんまりあれですね。
00:32:08	じゃ、とりあえず 10、
00:32:14	はい。
00:32:15	お願いいたしますはい。

00:32:17	倉地丹
09:44:00	はい。
09:44:04	全体像。
09:44:10	あの被災、
09:44:13	これはステップ2の1の基本地盤モデルの先清に必要な項目をすべて拠出して必要があると。
09:44:21	ということで、客観的な観点で、必要な項目を整理することと、評価するということをご提案中というふうになってございます。
09:44:30	その次ステップ2の1のところで、地下構造が同じとみなせる範囲の集約みたいなことが書いてあんですけどもこれはステップ2の2で実施する内容だということでステップ2の1じゃなくていいですよ。
09:44:43	ということで廣瀬ということにいただいていると思うんで、
09:44:46	衛藤岩盤物性値のところですけども、大浜文の墓石の設定で、境界における地盤安定性解析における考え方等のサーとして、深度依存性を速度境界の切り替わりによって、
09:45:00	考慮していることを明確にすること。
09:45:03	非線形に関してはSsによるひずみレベルを考慮した収束分析を示した上で、岩盤の減衰要素と岩盤の非線形性等関係についても考察加えること。
09:45:16	次、減衰押すんですけども、建設人員のエスワン2%ですに3%のこの月上その設定根拠が、もしも残ってるのであれば説明をすることと、ということでちょっとこれ、あるかどうかの地震は今ないんですけども、調査をいたします。
09:45:32	4番ですね。
09:45:33	で、下、次に、減衰定数の同定につきましては逆に木曾さんの複数の表を踏まえまして、地震観測記録に基づく同定を選定したということについて、
09:45:45	妥当性を示すこと。
09:45:48	ということで、逆のその手法、幾つか書いてあるものうちこれ選んだということについての説明ということでございます。すいません。はい、古作規制庁古作ですけど、
09:45:59	選定したことの妥当性だけだと、他のものをどうしているのかとかがあっていうのも、1つ上を説明する。

09:46:09	という雰囲気がないので、まずはそこはしっかりと示して、その上で、どう考えていくのかと。設定について、
09:46:18	のかっていうことを、撤回されるということだと。
09:46:21	うん。で、
09:46:23	それはその手法を示した上でだけじゃなくてそれをその中での減免で持ってるデータがそれぞれどうなのかなということを説明した上で、っていうさ逆にさ複数の手法に基づく元ので、
09:46:38	バターを整理した上でとかそういうふうなことですかね。はい。
09:46:46	ある程度整理した上で、
09:46:51	その次の地震観測記録基づくは京都だ、だそうなるのかな。そうね担当。
09:46:58	消したこともちょっと1強すぎる形ですね。敷地における減衰定数。
09:47:07	うん。そう。
09:47:21	もう1回読みますね。減衰定数の同定については逆に、記載の複数の手法及びそれに係るデータを整理した上で、
09:47:29	敷地における減衰定数の同定方法の考え方について示すこと。
09:47:33	はい。これ認識は
09:47:35	次、表層地盤ですけれども表層地盤の設定にあたって用いるデータが、統計的に扱うことが可能なデータであるかとの観点で説明を行うこと。
09:47:45	これ最後かみさんにおっしゃっていただいた話かなというふうに思っています。
09:47:50	ですけど、
09:47:52	相馬話そういう話もありましたけど、ここで4杯声を出してみるとあってですけども、
09:48:02	含めて、
09:48:05	してる。
09:48:06	はい。
09:48:11	手法について、ちょっと一番溶媒プワーツて書きました。複数ケースを、
09:48:39	あ、ごめんなさい私ちょっとあんまりあれですけどそれ統計的に扱うことが可能なデータであるかどうかというの内数になるんですかね。
09:48:47	いや、違う。

09:48:48	別なステップ案でどこまでやるかって話持ってるんで、ちょっとあまり細かく書きにくいなと思って、古作ですそれで言うと、統計的に扱う言葉で、
09:49:02	可能。
09:49:04	可能なデータであるかって言うよりは、
09:49:08	統計、
09:49:10	的に扱うことができる。
09:49:12	ですよ。はい。そういうようなことをまずちゃんと整理した上で、
09:49:18	下のような設定をするかについての考えを、場合によっては複数、
09:49:25	取っちゃってます。
09:49:43	はい。
09:49:46	表層 2 番の設定にあたって用いるデータは統計的に扱うことが可能であることを説明した上、
09:49:53	パラメータの設定に当たり、
09:49:55	必要に応じて複数のケースを示すことを含め説明を行うこと。
09:50:00	表層今の物性値層の設定や、
09:50:11	アップ策です。
09:50:13	振り替え率はそんなことでいいと思うんですけど、結局その引き方が、いろんなケースがあるんだろうなというふうにも想像をしているところ。
09:50:25	どれが実際の機器の評価に、
09:50:29	適切なものになるかということを経験的には説明いただかなきゃいけないと思うので、
09:50:36	変に県民への注意をしてしまうと、そこら辺の冒頭の仕方が、どうなり、なるのかという分析ができなくなっちゃう。
09:50:44	いうところもあると思うので、その点を踏まえながら、検討
09:50:49	していただければなど、いうふうに思いますし、最終的には 2-2 のところでの
09:50:55	実際適用してみてどうかということも踏まえながら、話を最終固めなきゃいけないと思うので、その点でもいくつか、
09:51:04	バリエーションも考えて、
09:51:11	どうぞ。
09:51:12	直していただいてですし、下げていただいてですね、うん。うん。

09:51:18	看板、
09:51:20	看板、
09:51:22	いや、先ほどですね収束物性値のは、12グループのメッセージを説明してくださいっていう話をしたと思うんですけども、
09:51:33	要はですね、これ今、パッチが多いですけども、予定出てるんですけどもこういう形で今後資料見させてもらって、今までみたいな結果だけ、
09:51:46	では、これから
09:51:48	我々判断できないんで、やはりそのプロセスで、条件、やっぱりここにあって、
09:51:53	多分、当然、説明をさせてもらっても、
09:51:56	旧そのの整理をプロセスとともに示した上でってただそんなにことですから、今の話はここのものではないので、泊なら一番上のところあります流れとしては、
09:52:13	前提たプロセスを、
09:52:16	01。
09:52:28	わかる。そうです。
09:52:29	だから、高齢者を選定した数の条件書というのができるんですよ。
09:52:50	じゃないですか。考え方です。
09:53:00	スペース先ほど少しごとでは言いましたけど一番最後の表層の話については、資料1ページの一番下に※書きで書いている。
09:53:10	ところのその関係で、
09:53:14	2-2で分析する必要があるんですけど、いうこと。
09:53:19	管理課もその複数あった方がいいんじゃないかっていう、
09:53:23	ことだと思って。
09:53:27	先ほど
09:53:28	の話では、2-2の場所って本当にいいのかっていう話を、
09:53:34	してたと思うんですけど。
09:53:36	最終的に使うモデルの話なのでっていうようなことを言われてましたけど、そこにつなぐためにも、
09:53:44	2-1 或いは1の段階で、に決めるというシナリオで、ちゃんとこの部分での、
09:53:52	検討ができるようにしてください。
09:53:55	いうことに繋がるのかな。

09:54:06	でもあったいただいたら平さんところの心のところ、
09:54:11	お話、変えない、そこでちゃんとその分析できるようにすることはない っていうことで、
09:54:28	引き続きですね。
09:54:45	念頭に、
09:54:48	稲川狩野委員のように例の扱いづらい分析できるように設定する。
09:54:54	ここの施設です。
09:55:09	かかってはい。
09:55:14	設定の考え方の根拠、
09:55:19	流れるようになってことですよ。
09:55:24	考え方は考え方という。
09:55:26	補足ですけど、
09:55:29	ステップ2における検討に必要なものとして設定する。
09:55:51	ありません。
09:56:16	或いは、今日、やっぱりことで、一応振り返りとしては内容とあとそれ の作業見込みみたいなことですけど、見込みとしては、先ほども確認し ましたけど資料、
09:56:31	この中で、6月5日の週、5月20日の週何回続いて、5月29の週とし ているのは表層地盤の
09:56:41	うちの、
09:56:42	流動化処理の伊賀。
09:56:45	についてということで、その内容については今日のヒアリングを踏まえ た対応はとりつつも、部分的に間に合わないものがあるのであれば、
09:56:55	その旨を明確にして、今週、計上されるということですけど、今週木野 は何時ですか。
09:57:03	本庁の後半ですので、もうすでに、はい、鍛治で
09:57:10	ですから明日岡浅倉の柏さん。
09:57:13	いう。
09:57:15	いただければな。
09:57:22	餃子を目指した方がいいです。最近よくいたします。はい。
09:57:37	古作です。それっていうと、金曜日は、その進め方のヒアリングを午後 1に、はい。予定をして、
09:57:47	はい。

09:57:49	できたのは、企業提出と言っても午前中に提出していただける、どう、どんな資料なのかっていうとさらっと見た上で、進め方も、
09:57:59	ヒアリングでは、じゃあ、
09:58:02	これについてのヒアリングはいつできますかねみたいなことが、お話ができると思うので、そうしていただける。
09:58:11	そしたら、午前中 10P を例としてお出しするという、
09:58:28	十時 11 ですね。
09:58:33	見る時間がある。
09:58:36	古作です。はい。
09:58:40	今日ある程度できて、確認の作業されているというところのようなので、もう、基本は木曜日までにざっとやって最終のリリースということで、
09:58:54	金曜日、朝、
09:58:55	作業されてるということで対応いただけるのは、
09:58:59	その資料の状況を踏まえて、
09:59:06	その後の資料をどうしていただく必要があるか。
09:59:10	いうことは認識共有ができると思いますので、
09:59:16	それ以外が 6 月 2 日の週、具体的に言うと、今週金曜日出された資料のヒアリング、
09:59:23	を踏まえつつさ、最低限の適正化をした。
09:59:28	状態で、資料提出をということになるのかなあと。
09:59:33	思いますけど、そうするとー6 月 5 日の週と言いましたようにあまり後半、
09:59:41	になるってということなんですね、あります。
09:59:50	はい。
09:59:51	いいです。
09:59:53	発想。
09:59:55	あと、
09:59:57	等々、できるだけねえ。
10:00:06	面白い。
10:00:08	介護が 20 日なので、はい。
10:00:12	ヒアリング、
10:00:15	はい。

10:00:17	次へ。
10:00:18	会合に臨むということに、
10:00:22	そうですね。なるほど。はい。
10:00:24	ほとんど、
10:00:27	来週できるものについては2回できる部分もありますけど、
10:00:32	表層のツールとしていただければ、
10:00:37	どうなんだろう。
10:00:39	始まり
10:00:41	流動化処理だのを含む、別にセットになって、一通りをなめるという、
10:00:48	形にはなる。
10:00:51	ちょっと厳しいところは、
10:00:55	あるので、
10:00:57	作業状況で、どうかというのはまた金曜日に、ちょっとお聞かせいただければと。
10:01:05	少なくとも先ほど上出が話したように、会合資料としてここ、すいません
10:01:12	工学、
10:01:13	を確認させていただくっていうケースもあると思いますので、そちらの方でも先行して話が、
10:01:21	できる部分はあるかなという気もしますから、そちらのスケジュールもあと金曜日、
10:01:28	提示いただければ、
10:01:30	ということで、
10:01:41	規制庁竹田です。その他、何か皆さん、確認等ございますでしょうか。
10:01:49	よろしいでしょうか。
10:01:50	それでは本日のヒアリングとさせていただきます